

台湾の台南市立大成国中の音楽班と音楽交流演奏会を行いました（平成29年6月5日）

台湾の台南市立大成国民中学音楽班の皆さんが来校し、本校の音楽科の生徒たちと交流演奏会を行いました。

2 時間目に、ヴィオーラホールにて歓迎セレモニーを行った後、さっそく午後の交流演奏会にむけて合同練習を行いました。



練習の後、グループに分かれて食堂などで一緒にランチを楽しみました。

いよいよ5・6時間目は、ヴィオーラホールにて音楽交流演奏会です。



夕陽丘高校のステージでは、K.ジェンキンス作曲「Ave Maria」、信長貴富編曲「線路は続くよ、どこまでも」を合唱で、チャイコフスキーの「1812年」をオーケストラで演奏しました。

続いて、大成国民中学の皆さんによる演奏です。日本の作曲家芥川也寸志作曲「弦楽のためのトリプティック 第1・3楽章」、その他台湾の作品やシューベルト作曲「交響曲第5番 第4楽章」等5曲演奏していただきました。弦楽器の豊かな響きにホールが包まれました。



最後は、合同演奏です。

ブラームス作曲「ハンガリー舞曲 第6番」、ヘンデル作曲『メサイア』より「ハレルヤ」、エルガー作曲「威風堂々 第1番」を演奏しました。「ハレルヤ」と「威風堂々」は、合唱も入り華やかで壮大な演奏で、非常に感動的なステージとなりました。



最後に、全員で記念撮影。皆、いい笑顔です。

今後も、音楽を通して国境や言葉の壁を乗り越えた交流が続いていくことを願っています。